

【4-8 定性的システマティックレビュー】

CQ	画像臨床重要課題2	乳癌術前の治療方針決定に乳房MRIは有用か？
P	原発性乳癌を有する日本人女性	
I	乳房MRIあり	
C	乳房MRIなし	
臨床的文脈		乳房MRIは乳房病変の質的診断、乳癌術前の広がり診断、化学療法の効果判定、インプラントの評価などに有用とされその件数は増加傾向である。一方で術前に乳房MRIを施行しても再手術率や再発率が施行しなかった場合に比べて差がないとする報告が近年みられる。このため乳癌術前に施行する乳房MRIの有用性についてのCQは重要であると考えられる。
O5		対側乳癌再発率減少
非直接性のまとめ		欧米からの報告も含まれるが特に問題ないと思われる。
バイアスリスクのまとめ		特に問題ないと思われる。
非一貫性その他のまとめ		特に問題ないと思われる。
コメント		対側の再発率に差があるとする報告とないとする報告が同程度みられた。
O2		
O3		